



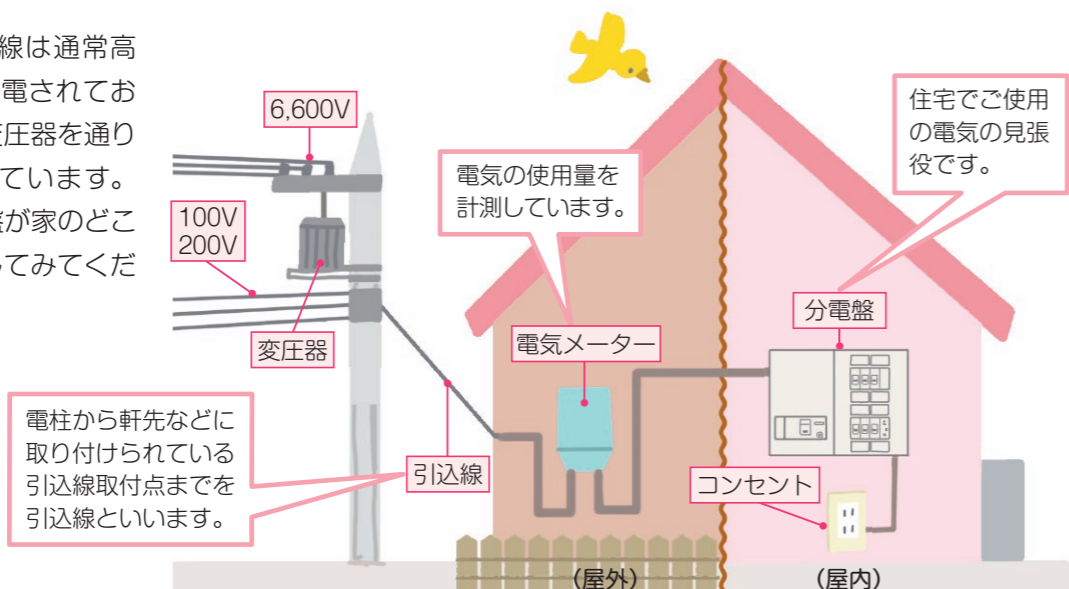
電気設備と確認

POINT

住宅には、電気を受けるための設備と安全装置が取り付けられています。毎日使う電気だから、これらの役割を知って正しく使用することが大切です。

■電気の流れ

電柱の一番上の線は通常高圧(6,600V)で送電されており、この線から変圧器を通りご家庭へ送られています。ぜひ一度、分電盤が家のどこにあるか、確認してみてください。

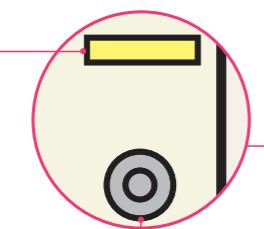


■分電盤の役割

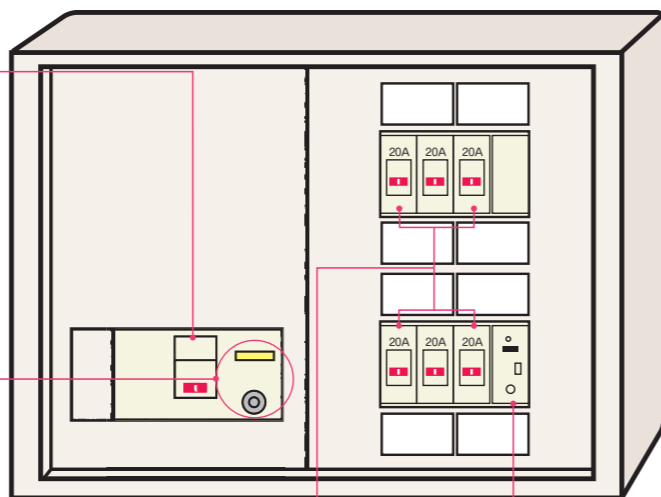
分電盤は各部屋に電気を分配し、使いすぎや漏電で事故にならないよう、ご家庭で使う電気をチェックする大切な役割を担っています。

漏電ブレーカー
配線や電気製品から電気が漏れたことを感知すると電気をすばやく止めます。漏電ブレーカーが動作すると、レバーが中間まで下がります。

漏電表示
漏電が発生して、電気を止めた場合に表示部が白色から黄色に切り替わります(ボタンがとび出すタイプもあります)。



テストボタン
漏電ブレーカーが正しく動作するか、チェックするためのボタンです。テストの際には電気が消えますのでご注意ください。



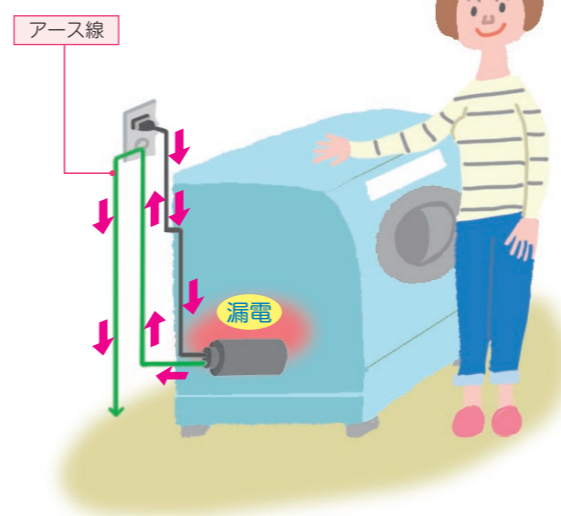
安全ブレーカー (配線用遮断器)
電気を使いすぎたときや、配線がショート(短絡)したとき、自動的にスイッチを切り、電気を止める装置です。

感震ブレーカー
地震を感知すると、自動的にブレーカーを落として電気をシャ断します。(P.14 参照)

■アース線の役割

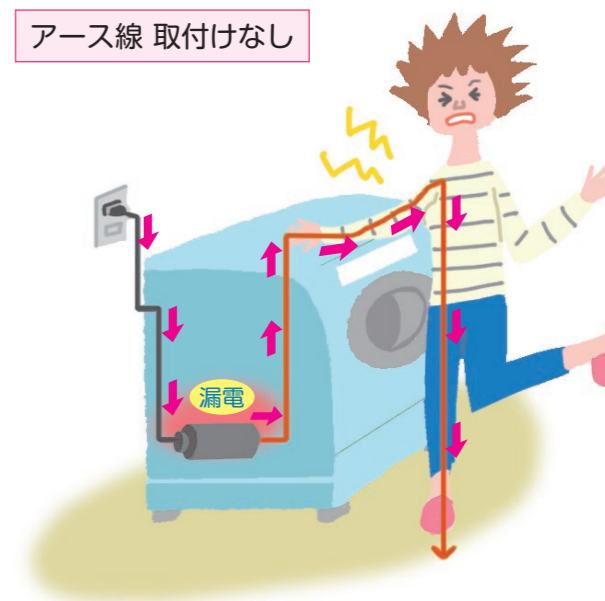
アース線は、漏電が発生した場合に、漏れた電気をアース線を通して地面に流し感電を防ぐための大切な役割を担っています。

アース線 取付けあり



❗ 漏電しても電気は人体を通らずアース線を通り安全です。

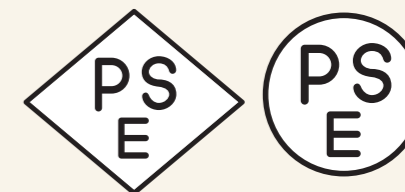
アース線 取付けなし



❗ 電気が人体に流れてしまい危険です。

PSE マーク

電気製品が原因の火災や感電などから消費者を守るために設けられた電気用品安全法。メーカーや輸入業者は製品が安全であることを確認し、適合製品に PSE マークを付けて販売することが求められています。ひし形のマーク(116品目 2017年1月現在)は丸型よりも高い安全性が求められる製品に付けられます。電気製品を購入するときは、PSE マークが付いているか確認してください。

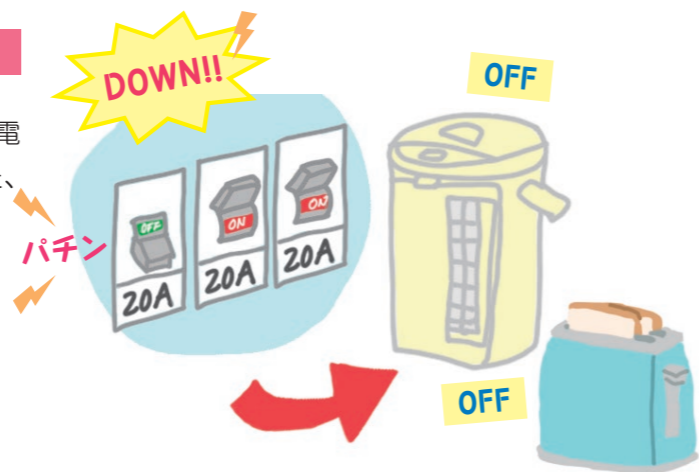


1 電気設備と確認

■ ご家庭で電気が消えたとき

家の中の一部が消えている場合

多くの電気製品を同時に使用したため、過剰な電気が流れた（過電流）ことが考えられます。また、電気製品等の不具合も考えられます。分電盤の安全ブレーカーを確認してください。



家じゅうの電気が消えている場合

漏電が発生した可能性があります。漏電ブレーカーを確認してください。

① 安全ブレーカーをすべて切る



② 漏電ブレーカーを入れる



③ 安全ブレーカーを1つずつ入れる



ご近所も消えている場合

電力会社の設備による停電とされます。関西電力にお問い合わせください。



詳しくは、関西電気保安協会または関西電力のホームページをご覧ください。

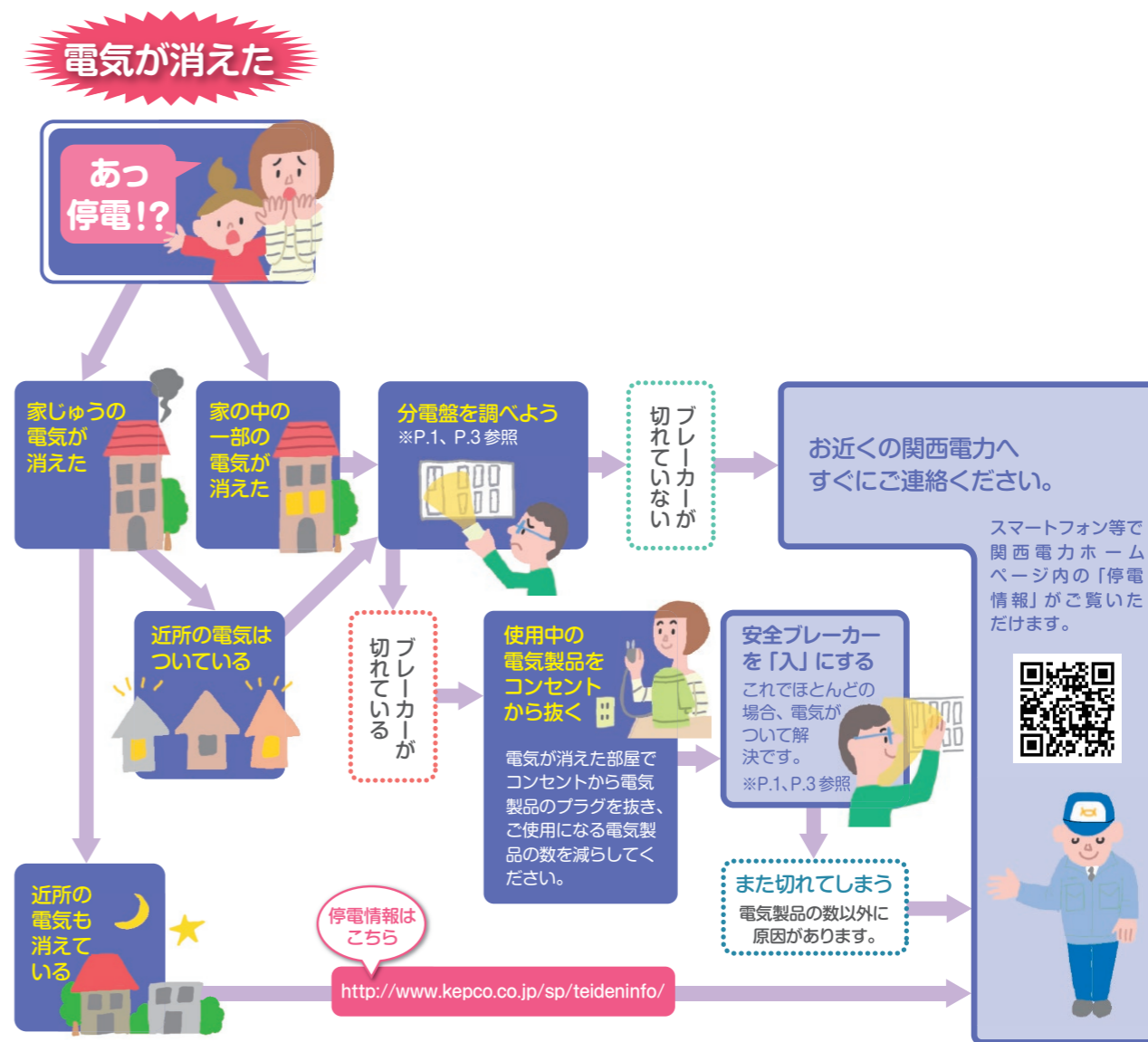
ksdh 検索 クリック 「電気の情報」→「電気の基礎知識」→「ご家庭で電気が消えたときは」

■ 家の電気が消えたときの対処法

家の電気が消えたときはつつい慌ててしまいますが、まずは落ち着いて停電状況を確認しましょう。

停電時には、固定電話・IP電話は、一部を除き、基本的に利用できなくなります。携帯電話等の代替手段をご利用ください。
また、予備電源（市販のバッテリーやUPS（無停電電源装置））を導入する方法もございます。詳しくは下記総務省のホームページよりご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/teiden.html



http://www.kepco.co.jp/sp/teideninfo/

スマートフォン等で
関西電力ホーム
ページ内の「停電
情報」がご覧いた
だけます。

